

一猫ウイルス性白血病と戦った猫 さぶくん一

さぶくんを保護した時に「猫ウイルス性白血病」と診断され、すでに左目も失明していました。

この病気は、3年以内に80%以上の子が亡くなってしまふという病気で、効果的な治療方法がないと言われるものでした。

口内炎と歯肉炎による口臭と、高熱が出ることも多く、動物病院へ連れて行く回数も多く、抗生物質で体調は落ち着いても、何度も嘔吐を繰り返すようになり、投薬による治療ではなく、なにか代替治療はないものかとインターネットで探していたところ、どうぶつ気功院を見つけ相談することにしました。

深夜にもかかわらず、遠隔での治療をしてくれて、さぶ専用気込めた気功カードを作ってもらったり、食事ほとんどとれなかったのが、少しずつですが、食事もとれるようになりました。

投薬による治療と気功の治療のどちらかを選択しなくてはいけなくなり、体への負担も少ない気功による治療を選ぶことにして、さぶくんのために出来る限りのことをしてあげたいと…そんな、さぶくんの闘病の記録です。